

水野ひろふみレター

WE LOVE とよた

繋ごう! 地域力



あけましておめでとございませう。

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は暗いニュースが多く流れ、気持ち的にもモヤモヤとし、すっきりできなかったように思います。その中で、少し明るいニュースとして、矢作川鶴の首狭窄部の事業が決定しました。豊田市の長年の課題である、矢作川氾濫に対する整備が進捗していくことは、災害に強いまちに生まれ変わっていくこととなり嬉しく思います。また、今回の広報に記載しました、第2期中央公園整備や国道301号益富拡幅事業も、

少しずつではありますが、動き出してきたことは、地域の皆さまと一緒に地道に活動し続けてきたこと、表れだと感じています。今年もしっかりと活動することにより、住みやすい豊田市を次世代に繋げていくことを目指していきます。



今年の言葉は、「実践躬行(じっせんきゆうこう)」と致しました。地域の願いや思いが形になるように、何事も自分自身が実際に進んでやってみる。という気持ちを持って、活動をしていく所存です。

豊田市議会議員 水野ひろふみ

「後援会交流部長挨拶」



交流部長 柴田克則

「」は新型コロナウイルスの為、後援会の主な事業が中止となり交流部としては非常に残念な年となりました。水野市議の初当選以来、地域対策交流部長を担当してまいりました。活動を通じ様々な事が思い浮かびます。ふれあい集会・親睦

旅行・マレットゴルフ等忙しく回りまわりました。中でも美里・益富地区で開催した水野市議を交えた「ふれあい集会」での意見交換が一番に思い出されます。初めは緊張しましたが、回を重ねるごとに会員の方が温かく迎えてくれる様になり、やりがいを感じた時の嬉しさを今も思い出します。これからも後援会のために踏ん張りしたいと思います。

「後援会行事部長挨拶」



行事部長 榎木 繁

「多彩な才能の持ち主であった角田さんの意思を受け継ぎ、後援会の結束を更に強めるために行事部活動を活発にしていこう」と意気込んで今年度スタートしました。

今年度も担当は新年交礼会と市政報告会でしたが、新人の無知もあり、コロナ禍の前におもうような活動が出来ませんでした。来年度はwithコロナの時代に合った活動が出来ますように役員を始め全員の御知恵を借りながら進めて行きたいと思っております。ご協力をよろしくお願い致します。

市長表敬訪

今年も8月に、美里・益富区長会の皆さまと一緒に太田市長へ表敬訪問しました。地域の課題を市長にお伝えするため、要望書を提出、合わせて、令和3年度に向けた地域の安心・安全に関する課題を建設部にもお伝えしました。



美里区長会

益富区長会

12月 定例会一般質問

質問の趣旨

災害時に市民が「命を守る」行動をとるための情報を行政はどのような手段に力を入れて発信しているのか、さらに「緊急メール」とよた「防災ラジオ」普及に向けた取り組みについて質問しました。

質問1 「市管理河川の水位計の設置状況」

【答弁1】 矢作川と岩本川の合流部に、ある樋門に1箇所設置し、河川管理者が洪水時に樋門の開閉操作を的確に行うために水位情報を把握しています。今後は、浸水リスクの高い箇所などから必要に応じて、避難を誘導するための浸水検知センサー等の水位計を設置していきます。

質問2 「学校メールと緊急メールとよたの連携」

【答弁2】 子育て世代に緊急時の情報を伝えることは重要と考えており、現在の出前講座やチラシ配布による周知を継続するとともに、今後は小中学生の保護者へのチラシ配布などに取り組みます。更には、学校

質問4 「防災ラジオ補助販売の延長」

具体的には、防災ラジオを購入していない65歳以上の高齢者を含む約32,000世帯に対し、令和2年12月末までに送付完了することで必要性を周知し、購入促進を行います。

質問3 「災害リスクが高い地域への防災ラジオの普及啓発」

近年の災害の大規模化や激甚化に対応して、引き続き、災害リスクの高い地域の高齢者世帯などへの更なる普及を促す必要があるため、令和3年度以降も現在と同様の内容で、補助販売を継続する方向で進めてまいります。

今回の提言

昨年12月の一般質問に続き、防災ラジオの3,000円での補助販売の延長を提言しました。



▲防災ラジオ

市政のご意見・相談はこちらまで - みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください -

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295

WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail letter@mizuno-hirofumi.jp
【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ 入口の目安箱に投函ください。



まちづくりピックス

公園と文化財を活かして

自然が豊かな美里・益富地域において、公園と文化財を活かしたまちづくりを皆さまと共に考えます。



5つのテーマの空間づくり(素案)

- 緑・川・自然・森林に囲まれた癒しの空間
- 生きがいきづくり・市民が育てる公園
- 家族で楽しむ・若い力を育てる
- 多世代・多国籍・他地域のつながりをつくる
- スポーツ・文化の向上

※参考図(計画平面図)



「豊田スタジアム中央公園」
第2期中央公園整備がいよいよ動き出します。令和2年11月25日に第2回豊田市都市計画審議会が開催され、憩いとうるおいをもたらす緑の空間、及び、都心との連携強化による新たなにぎわいを創出するための公園整備エリアが決定しました。

今後、この地域がより住みやすく子育てのしやすい街に変化していきます。

「周辺文化財」
縄文時代の竪穴建物跡や古墳時代の溝跡などが保存されている曾根遺跡公園、この地を平定した景行天皇の皇子・御立連の祖木入彦命を祀る鷲取神社、土師氏の神でもある野見宿禰(後裔が菅原道真)を祀る野見神社が文化財として保存されています。

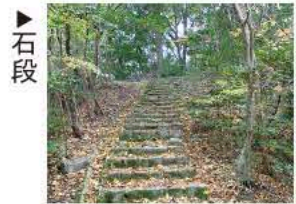
歴史の残る土地柄を活かし、文化財の有効活用を考えたいと思います。

「五ヶ丘」

五ヶ丘の街は緑の丘に囲まれ、各所に身近な公園が配置されたゆとりのある住宅地です。緑の丘は5つあり、「五ヶ丘」の名前の由来にもなっています。既に30数年が経過し、丘の整備が行き届かなくなっています。が、丘を活用したまちづくりを考え、「健康のまち五ヶ丘」を目指しましょう。

「伝統と史跡」

約二百年前から続く山車が町を巡行する志賀神社大祭、戦国時代の松平一族の要の城の一つであった城跡を楽しめる古瀬間城址、不動明王を祀る大見不動が保存されています。

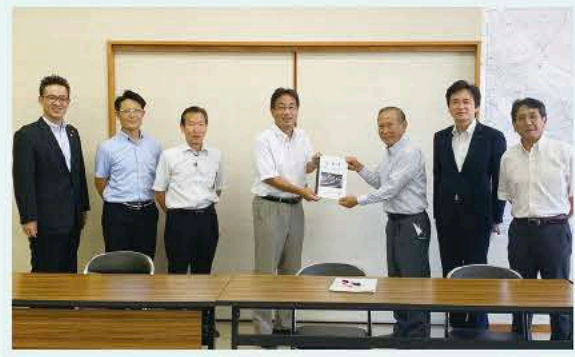


国土交通省・財務省への要望活動



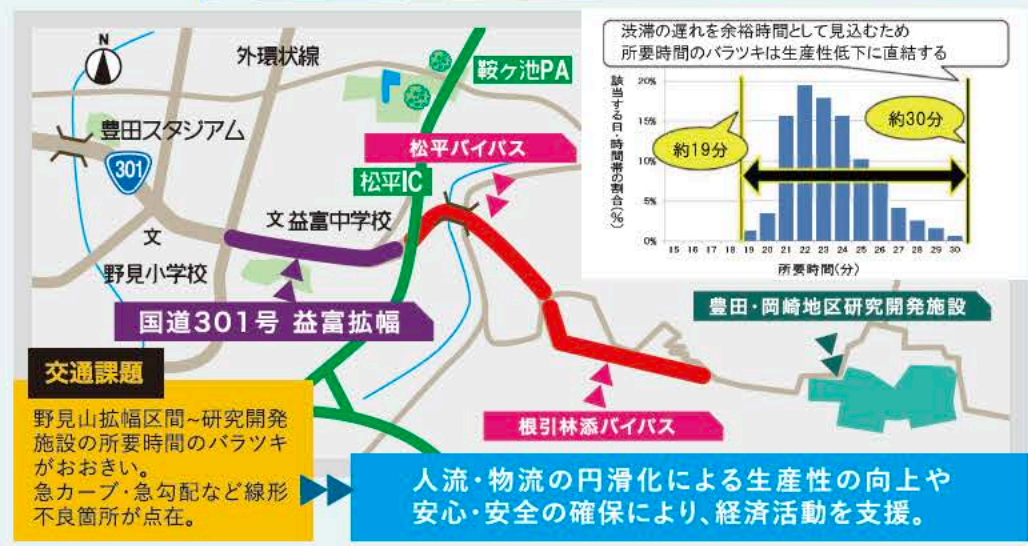
産業建設委員長として豊田市の要望活動を八木代議士、太田市長、山田議長と一緒に国土交通省・財務省へ益富拡幅等の要望に伺いました。

豊田加茂建設事務所への要望活動



8月20日に鈴木県議と益富区長会代表と一緒に、豊田加茂建設事務所に対しても毎年の国道301号の要望活動も行ないました。

ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備



益富地区の最大の課題である国道301号の4車線化は、豊田市の幹線道路網整備等に関する要望書に記載され、本年度、愛知県より測量及び設計が発注されました。現在、測量が始まっています。

益富拡幅事業

国道301号